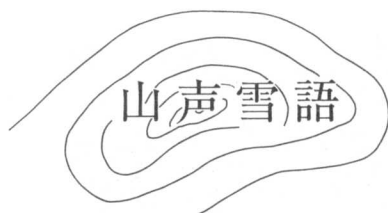


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2677回★ 一斉清掃登山 高雄～落合	6月2日(日) AM9:00 高雄バス停集合	岡田 茂久 方山 宗子	高雄～落合
備考 ・ 徒歩2時間程です。 ・ 参加希望者は担当者へ必ず連絡してください。			
6月の集会 日時 6月10日(月) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)		6月の企画運営委員会 日時 6月20日(木) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)	
第2678回★ 大峰 弥山 1,895m 八経ヶ岳△1,914.9m	7月6日(土) ～7日(日) 6日 PM3:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫	6日 竹田駅西口～京奈和道R 24～田原本～天川村(テ ント泊) 7日 行者還トンネル西口…弥 山…八経ヶ岳…往路下山
備考 ・ 大峰の名花オオヤマレンゲを鑑賞予定です。 ・ 麓でテント又は車中泊します。帰路、温泉入浴予定です。 ・ 参加希望者は担当者へ必ず連絡してください。			
7月の集会 日時 7月10日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)		7月の企画運営委員会 日時 7月19日(金) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)	



山はアナログがいい

大槻 雅弘

来月、京交山岳部は昭和24年7月1日にスタートして、創立64年を迎える。

かつては活発だった例会山行は、時代の流れと共に部員の減少に比例して活動量と数も落ちてきた。戦後復興と、日本経済の発展に伴い社会構造が大きく変化してきた中で「昔はこうだった。」と較べることが無理かも知れないし、その言葉に空しさも覚える。

いま振り返って見ると、どこの山岳会も過去のような若さ、エネルギーには乏しいだろう。ましてや職域山岳部はなお更である。だが、一方、山の世界にも良い兆しがある。マスメディアとインターネットの発達した情報化時代。これに押されてか「山ガール」の登場である。山ですれ違おうと、振り返るほどのスタイルやウエアーのデザインに目を瞠る。ニッカボッカの時代には、想像もつかない出で立ちで、往時の山岳部のスタイルを思うと隔世の感である。

他方、「山ガール」の登場とは言え、高度成長時代が終わった日本。百貨店や街の中、昼間はどこを見渡しても高齢者ばかり。勿論、山も然り。特に、ウィークディの山は、ワイワイ大声をだして歩いているのはリーダー以下、みんな歳だけは誰にも負けない、と言う人たちがばかりである。ご多分に漏れず、我が山岳部も、OB会員が現役よりも多いことは言うまでもない。

でも、そんな中、何とか我が京都市交通局山岳部は「京交らしさ」を失っていないものがある。それは、脈々と先輩から引き継がれてきた。

一つは、昭和35年2月、伊藤潤治氏をリーダーに、高見山から大台辻まで8日間「台高山脈冬期初縦走」した心意気。山への情熱があっても目を向けない山域に、足跡を残して来たことである。余り派手さはない。そこには、ヒマラヤの高峰や、岩と雪の世界はない。樹林の中を台高山脈や奥美濃へと足を運んできた。時を経ても、GPSよりも地図を片手に藪をこいで尾根筋を辿り、山頂へ達する喜びをいまも引き継いできている。

取えて、GPSを否定する訳ではない。ボタンを押せば瞬時に、経緯度から現在地が判ると言うのは何ものにも変えがたい文明の最たる機器。しかし、複雑な谷筋や、藪山では必ずしもGPSが十分威力を発揮するとは言いがたい。そこはやはり、地形を大きく見渡し、地形図から山容全体を読取る「読図力」である。デジタルよりアナログの世界である。

二つは、昭和56年、今も京交山岳部の最長老で頑張っておられる坂井久光氏が、京都府山岳連盟の機関紙に「京都府下の1・2・3等三角点182座-500m以上」を特別寄稿されたことだ。これは、今こそ深田久弥氏の「日本百名山」はやりで数を競う人が多いが、当時、山登りの一つのあり方としては、京都府の三角点を全部登ろうという試みとして、画期的なものであった。

また、ご存知のように、今西錦司氏を師と仰ぎ「一等三角点研究会」を立ち上げ坂井氏自ら会長になられ、全国の500m以上の一等三角点峰548座を完登された。このことは簡単に真似出来ることではない。とにかく、現役時代から山と三角点一筋の坂井氏から、三角点に大きな影響を受け、これを引き継いできている。

こうして振り返ると、山登りの楽しさ喜びとは何ぞやと。人それぞれ山に対する思いや楽しさは違うが、京交山岳部で育った我々は、深い藪を漕いで山頂に達したときに、三角点にタッチする喜びを引き継いできている。藪山と三角点。これはまさしく京交らしさであり「アナログの世界」でもある。

三重県 錫杖ガ岳 (676m)

井戸澄夫

桜も散り、山々を新緑が染める時期となった。気温の差が大きく、北海道や東北からはまだ雪の便りも聞かれるが、伊勢路は絶好の好天で、山の花と緑を満喫する1日となった。錫杖ガ岳は低いけれども、剣のように尖った山谷で麓から見ても目立つ山である。昔から雨乞いの霊力のある山として、周辺地域から信仰されてきた山という。竹田から名神・京都南 IC—新名神—伊勢自動車道・安濃 IC まで約1.5時間、料金は休日割引で半額である。早くて安いことを素直に喜ぶ。錫杖湖は安濃ダム（重力式）による人造湖であり、キャンプ場や公園があつて、春には桜の花もたくさん咲き地域住民の憩いの場となっている。東登山口から登る。谷川沿いの林道跡を登るが、コンクリート舗装されていた林道は水害で無残に破壊されている。

林道が終わり尾根に移ると急登が続く。ブナやナラの新葉が水々しい。山ツツジが満開でピンク色が緑に映える。道の脇にマムシ草が鎌首を立てている。根元をたたくと、その鎌首が上に伸びるのがおもしろい。頂上直下に屋根付きベンチがあり、そこからは岩場である。ここの岩盤も鈴鹿山系に共通の花崗岩である。山頂は狭く岩場である。眺望は遮るものがなく絶佳である。西に伊勢平野と伊勢湾、北に鈴鹿の山々を俯瞰する。東から南は青山高原や経ガ峰、霊山といった山々である。狭い岩陰で昼食をとる。日差しは強いが、風は心地よい冷たさである。思わず睡魔に襲われる。下りは尾根を西に行って柚木峠を回ることにした。頂上直下は急降下で鎖やロープが設置されている。100mほど下れば緩やかな尾根歩きとなり、所々にきれいなベンチが設置されている。立派なテーブルとベンチがあるところで休憩し菓子を食べた。どなたが作っておられるのかしらぬが、ありがたいことである。柚木峠からの下りは谷沿いであるが、登りと同様に水害で道が荒れている。渡渉する場所で道を間違わないように注意しなくてはならない。六地藏のあるところからは平坦で分かりやすい。安濃川を渡り、公園地を通り東登山口の駐車場所まで戻った。

帰路、伊賀上野の大山田温泉「さるびの温泉」で汗を流した。ゆったりとした春の山を楽しむことができた。

【参加者】 渡邊智生 F1, 岡田茂久, 方山宗子, 井戸澄夫 (5名)

【コースタイム】 4月27日 (土) 天候 晴れ

4月27日 8:00竹田駅西口—(名神・新名神・伊勢自動車道) 安濃 IC—10:00東登山口…11:50
錫杖ガ岳山頂(昼食) 12:20…13:25柚木峠…14:00北畑登山口…14:20東登山口—15:20大山田
温泉「さるびの温泉」(入浴) 16:20—(R163, R24)—18:30夕食(井手のファミレス) 19:30
—20:30竹田駅西口解散

【個人山行】

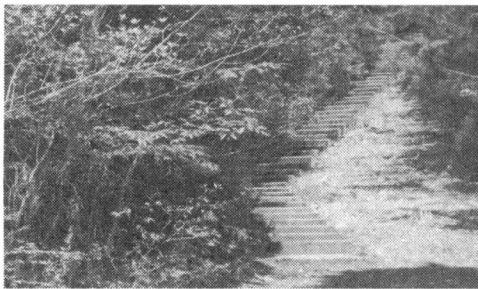
一等三角点「久田見山」と「三等三角点」

OB 吉田 武

日帰り山行で岐阜県加茂郡八百津町の久田見山と三等三角点に登ってきました。東海北陸道 美濃関 IC から東海環状自動車道の美濃賀茂で降りて R418 を走り 楳（ゆずりは）から細い県道に入り 長者屋敷を目指したが、少し道迷って楳まで戻り、村の人に聞いてみたら、今僕が言った道が正しくもう少し行くと十字路があるのでと言われたのでまた引き返して十字路を右折したら、5軒ほどの家があり、3軒が廃屋でその先を少し登ると階段があったので、スペースのあるところに駐車して、登った。少し行くと無線の中継アンテナがありその奥に久田見山1等三角点があった。樹林の中の静かな所で、展望もないので写真を写して下山した。

次の山は先ほどの十字路まで戻り右折して八百津町後口区 of 三等三角点に行った。頂上には祠があり真新しい注連縄がしてあった。その後ろに三等三角点があった。帰路は東海北陸道の関 IC にナビを合わせて R156 沿いにある僕のソバの師匠の店に立ち寄り久しぶりにおいしいソバをいただいて帰った。前半の連休だったが、時間が早かったので思っていたより早く帰れた。

【参加者】 吉田武他 1 名



久田見山登山口



1等標柱



久田見山1等三角点



後口 三等三角点

例会報告

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2673	三重 錫杖ガ岳	4月27日	晴	井戸 澄夫	岡田 茂久 方山 宗子 渡辺智生 F1	(別稿詳報)
2674	伊吹山	5月8日 ～9日	晴	山下 幸宏		(次号報告) 目的地を変更しました。

雑報

△△△ 5月の集会

日時 5月10日(金) 18:30～
場所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 大槻, 岡田茂, 方山, 渡辺, 和田, 清水 計7名
内容 例会報告, 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 4月の企画運営委員会

日時 4月23日(火) 18:30～
場所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 清水, 吉田
内容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

5月号 京都山岳, 趣味の登山, 青嶺, 比良山岳, 木雞, わっぱ
4・5月号 山友

△△△ 平成25年度部費徴収のお知らせ

平成25年度の部費を徴収します。年会費7,500円(郵送料込み)の方はOB会員会費徴収担当(吉田)まで、できるだけ6月末までに郵便振込みをしてください。

△△△ 京交山岳部からのお知らせ

京交山岳部ホームページ
「京交山岳部」または「京都市交通局山岳部」で検索するか、
アドレス <http://kkmc.web6.jp/> で接続してください。

△△△ 岳連からのお知らせ

京都府山岳連盟ホームページ
「京都府山岳連盟」で検索するか、
アドレス <http://www4.plala.or.jp/kyoto-gakuren/> で接続してください。
また、京交山岳部ホームページとリンクされています。